



News letter

かもみーる通信

73号

2016年7月

CONTENTS

- * カモミールこども大学
- * カモミール月曆
- * サイエンス夢追い人育成プロジェクト
- * 連携型共同研究成果報告会
- * 科学英語論文執筆セミナー
- * 保育園たより

かもみールこども大学

日時：平成28年**8月23日（火）・24日（水）**の2日間
8：30～17：30（受付 8：15～）

場所：岐阜大学第6集会室、岐阜女子大学講義室 他

対象：岐阜大学及び岐阜女子大学に勤務する教職員の子ども（小学生）

参加費：2,000円（材料費、昼食・おやつ代、傷害保険料）

定員：25名程度（2015年度選外者を優先）

（定員を超えた場合は公開抽選：7月20日（水）12：10 岐阜大学カモミール・カフェで実施）

申込期間：**7月11日（月）～15日（金）** 各日**9：00～17：00**

申込方法：参加申込書を男女共同参画推進室へ提出（できれば持参、Fax・メール可）

参加者募集！

8月23日（火）



- ★農場見学、ピザ作り
（岐阜フィールド科学教育研究センター）
- ★地震防災について
（大学会館第6集会室）
- ★夏休み宿題、自習
（大学会館第6、第9集会室）

8月24日（水）

（於 岐阜女子大学）

- ◆キャンパスツアー
～知の探究隊！～
- ◆研究を体験！
- ◆iPadで夏休みの作品をつくろう！



岐阜女子大学へはマイクロバスで移動



農産物販売

男女共同参画推進室・岐阜フィールド科学教育研究センター共同企画
こども大学参加申込受付期間中

日時：平成28年7月11日（月）～15日（金）12：00 ～ 14：00

場所：大学会館2階 男女共同参画推進室（カモミール・カフェ）前



カモミール月暦 (室長からのメッセージ)



副学長(多様性人材活力推進担当) 林 正子

仕事と家庭生活の両立を推進する地元企業を訪ねて

6月24日(金)、研究推進・社会連携機構、産官学連携推進本部スタッフの皆さんの運営による「産学ツーリズム」に、森脇久隆 学長はじめ大学執行部のメンバーとともに出かけました。「産学ツーリズム」の理念と意義については、王 志剛 副学長・産官学連携推進本部長により、「岐大のいぶき」No.31(2016年Spring-Summer)掲載の「**「産学ツーリズム」で地元企業の魅力を再発見。**」において紹介されています。

今回の「産学ツーリズム」では、それぞれ47名と24名の岐阜大学出身者が活躍している、離職率1%未満の(株)オンダ製作所と鍋谷バイテック会社を訪ねました。岐阜県下の優良企業で創られる製品・サービス・人材が、地域社会や国際社会に波及流布してゆく基盤を目の当たりにするとともに、働き手に寄り添ったワーク・ライフ・バランスの取り組みの成果についても、身近に拝見することができました。

とくに印象的だったのが、(株)オンダ製作所の会社概要『しあわせを、築く。』と社内報『CONNECT』からも彷彿とする**育児支援体制の充実**です。子どもが小学4年生になるまで短時間勤務ができるため、第2子・第3子と出産し復帰する女性社員の方々も多くいらっしゃる事が紹介され、社内報の「HAPPY WEDDING」「ようこそ!赤ちゃん」のコーナーには、新婚カップルや新生児たちの微笑ましい写真とエピソードの数々が掲載されています。昼食で同席した岐阜大学OGからも、「**結婚し、出産し、子育てしながら仕事を続けることに、まったく不安はない**」との力強い言葉を耳にし、頼もしい思いを抱くとともに、恩田由紀 代表取締役社長のリーダーシップによる会社挙げての両立支援の取り組みに感服した次第です。

昨夏、女性の職業生活における活躍の推進に関する法律(女性活躍推進法)が成立して以降、地元企業でも男女共に働きやすい職場づくりのためのさまざまな取り組みが展開されています。学生の皆さんにも、「**人を育て地域を育てる**」**地元企業の魅力**を伝えてゆきたいと願っています。

文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(連携型)」

シンポジウム「女性の活躍と地方創生」のご案内



7月19日(火) 15:00~17:30 岐阜市文化センター小劇場にて、シンポジウム「**女性の活躍と地方創生~人を育てる企業・地域を育てる企業~**」を開催します。このシンポジウムは、文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(連携型)」の一環で、折井雅子 サントリーウエルネス株式会社専務取締役による基調講演「**企業における女性の活躍推進~サントリーの取り組みと自身のキャリアを通して~**」、野々垣孝彦 アピ株式会社代表取締役社長による事例発表「**アピ株式会社における女性の活躍と環境**」、**パネルディスカッション「女性の活躍と地方創生」**をおこないます。パネリストとして、折井雅子氏、鈴木裕子 岐阜県健康福祉部子ども・女性局長、原英彰 岐阜薬科大学副学長、森田順子(株)岐阜放送代表取締役社長が登壇し、モデレーターを私が務めることになっています。「産官学」それぞれの立場で、職場における「女性の活躍」、延いては、性差を問わず「多様な生き方、働き方」実現のための方策を模索します。皆様、どうぞぜひご参加ください。

詳細はWEB上のポスターをご覧ください。 <http://www1.gifu-u.ac.jp/~sankaku/news/326.html>

The poster provides detailed information about the symposium. It includes the title, date, time, and location. The program features a keynote speech by Masako Orii, a case study by Takahiko Nonaka, and a panel discussion with four participants moderated by the author. Contact information for the organizing institution is also provided.

サイエンス夢追い人育成プロジェクト



(女子大学院生による出前講義)

男女共同参画推進室では、女性研究者育成のための取り組みとして、「サイエンス夢追い人育成プロジェクト」(女子大学院生による出前講義)を実施しています。

この活動は、女性研究者の裾野の拡大を目的として、岐阜大学の女子大学院生が岐阜県内の小学校・中学校・高等学校に赴き、研究や大学生活、これまでの進路選択の経緯を紹介するものです。



これまでに延べ86回実施し、延べ6,299名が受講しました。出前先の小学校・中学校・高等学校からも非常に好評を得ており、男女共同参画推進室の主要な取り組みのひとつになっています。

大学院生にとっては、教育活動を通して自らの研究内容の意義を見つめ直す機会となること、プレゼン技術、コミュニケーション力、マネジメント力を習得することなどが期待されます。また、受講する中高生にとっては、より身近な存在である女子大学院生が「どのように進路選択をしたか」「大学ではどのような研究生活をしているのか」などの情報に直接触れることにより、大学や研究に対する興味関心が喚起され、学習意欲・進学意欲の向上が期待されます。

岐阜総合学園高等学校



6月20日(月)、平成28年度第1回目となる出前講義を実施しました。県立岐阜総合学園高校の工業・建築・環境系の生徒さん20名が対象でした。初めて実施する高校なので、工業系男子高の雰囲気なのかな、と思いましたが、女子生徒も4名の参加があり、どちらかという普通科に近い雰囲気がありました。

講師の徳力明日香さん(工学研究科環境エネルギーシステム専攻修士2年)は、昨年度も実施してもらった実力派で、学生さんを飽きさせないような、魅力的な授業が展開されました。



文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(連携型)」



平成27年度 連携型共同研究成果報告会



7月28日(木)に、文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(連携型)」平成27年度採択連携型共同研究成果報告会を開催することとなりました。

「連携型共同研究」とは、本事業に連携して取り組む4機関 — 岐阜大学・岐阜薬科大学・岐阜女子大学・アピ株式会社に所属する女性研究者が、代表者として他機関の女性研究者と共同で研究を始める場合に研究費を助成する制度です。多分野にわたる共同研究を実現することで、独創性に満ちた研究を促すとともに、女性研究者が共同研究においてPIを経験することにより、研究進捗管理や協力体制の構築等の能力向上を目指すものであり、当プロジェクトの最も重要な取り組みのひとつです。

この制度に昨年度採択された12件の共同研究の成果について報告がおこなわれます。是非ご来聴ください。

日時：2016年7月28日(木) 15:30~18:00

場所：岐阜大学 全学共通教育棟1階 アクティブ・ラーニング教室



科学英語論文執筆セミナー



6月19日（日）と7月2日（土）に岐阜大学 サテライトキャンパスにおいて「若手女性研究者の研究力向上支援のための科学英語論文執筆セミナー 効果的な英語論文の書き方」を開催しました。参加者は1回目28名、2回目22名。今回のセミナーは大学院生や男性にも門戸を開いての開催で、応募者31名の内訳は女性28名・男性3名／教職員20名・学生11名という数字となりました。



土・日の開催ということもあってか、無料の託児サービスも2名のお子様にご利用いただきました。すぐ隣の部屋にお子さんを預けることで勉強に集中いただけたのであればうれしい限りです。

今回のセミナーの講師は英文校正会社エダングスグループ ジャパン株式会社から派遣されましたが、国際ジャーナルへの投稿論文校正や支援事業を通して蓄積されたノウハウを活かし、いかに「読まれる・選ばれる」論文を書くかという講義をしていただきました。



参加者からは「ネイティブの講師の英語での講義を聞き取るのが難しく、ついていくのがやっとだった」という感想が多かった反面、「論文執筆について系統的に学べたのがよかった」、「ついていくのに必死になったが、もっと英語力をつけたいと反省する良い機会になった」などの声もありました。今年度は他にも数回の英語セミナー企画を予定していますので、一層の英語力向上に役立ててください。

保育園たより



岐阜フィールド科学教育研究センターのご協力により、今年も玉ねぎとじゃがいもの収穫体験をしました。



玉ねぎに葉っぱがついてるー！



大きなじゃがいもが採れたよ！

